

ボランティアだより

ほのボラ

2016年6月発行

No. 33

発行 京丹波町社会福祉協議会

〒622-0311

京丹波町和田田中6番地1

TEL: 0771-86-1444

FAX: 0771-88-0037

URL: <http://www.kyoshakyo.or.jp/kyotanba/>

社協キャラクター



京丹波町災害ボランティアNEWS



平成28年4月14、16日に発生した熊本地震に伴う現地災害ボランティアセンター熊本県西原村にて京丹波町社協より地域福祉課・岡本秀平が5月9日(月)～14日(土)の期間、ボランティアセンター運営支援を行いました。



ボランティア活動の注意事項の説明



現地の方へのニーズ聞き取り調査



ボランティア活動(ガレキの撤去)



ボランティアから西原村への応援メッセージ



岡本 秀平
地域福祉課・係員

「運営支援に関わって」

現地では多くのボランティア、NPO、関係機関、地元の方々と支援を続けてきました。復興まではまだ時間がかかりますが、全員で前を向く姿に心打たれました。

大災害はいつどこで起こるかかわからず、他人ごとではありません。京丹波町災害ボランティアセンターとしても常日頃から準備を怠らず、また地域住民の皆様と今以上に繋がりを深めていきたいと考えています。

災害ボランティアセンターの主な活動内容

- ・被災地の要望(ニーズ)の把握
- ・ボランティアの受け入れ
- ・人数調整・資機材の貸し出し
- ・報告・振り返り 他

なぜ災害ボランティアセンターを社協が運営・設置するのか

災害時の支援活動では、地域住民や様々な関係機関と協力することが重要になってきます。このため平時よりボランティアや地域の方とのつながりがある、地元社協が運営・設置することが一般化しています。



八田さわやか サロン(瑞穂)

5月18日(水)八田サロンでは、京丹波スリーAの皆さんによる認知症予防ゲームを行われました。歌を歌いながらの指体操や、リズムゲーム、お手玉まわしなど、上手いかなくても笑いあいながら楽しまれていました。シーツ玉入れでは、少し汗をかくほど盛り上がり、ボールが跳ねる様子も見られました。

家でも取り組むことができる体操もあり「また家でもやってみよう」という声も上がっていました。



☆スリーAのモットー☆
(あかるく・あたまを使って・あきらめない)



☆シーツ玉入れ☆
(シーツにある穴にボールを入れ合います)

黒瀬サロン(丹波)

「止まれー!!」
「あー行き過ぎたー!!」

5月31日の黒瀬サロンでは、公民館にお邪魔した瞬間から、にぎやかな声が聞こえてきました。



2チームに分かれ、ゲーゴルゲームや玉入れを楽しみ、その後の茶話会では

「久しぶりにたくさん笑ったわあ」「ぴったり止めるの難しいな…」とゲームの楽しい反省を話され、終始笑顔はじける明るいサロンとなりました。



広瀬うちこせグループ(和知)

5月24日(火)のサロンは点数の書かれたマットに向かっておじゃみを投げ得点を競いました。皆さん



一番得点の高い50点を目指して狙いを定めておられました。

今回は初めて男性が5名参加され、最初は緊張した面持ちでしたが、徐々にリラックスされ、楽しい雰囲気の中で時間が過ぎていきました。



お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課

丹波支所 ☎82-0126 (榎川・岡本) 和知支所 ☎84-1833 (湊)